

平成25年2月期 第2四半期決算説明会

株式会社アルバイトタイムス

平成24年10月12日

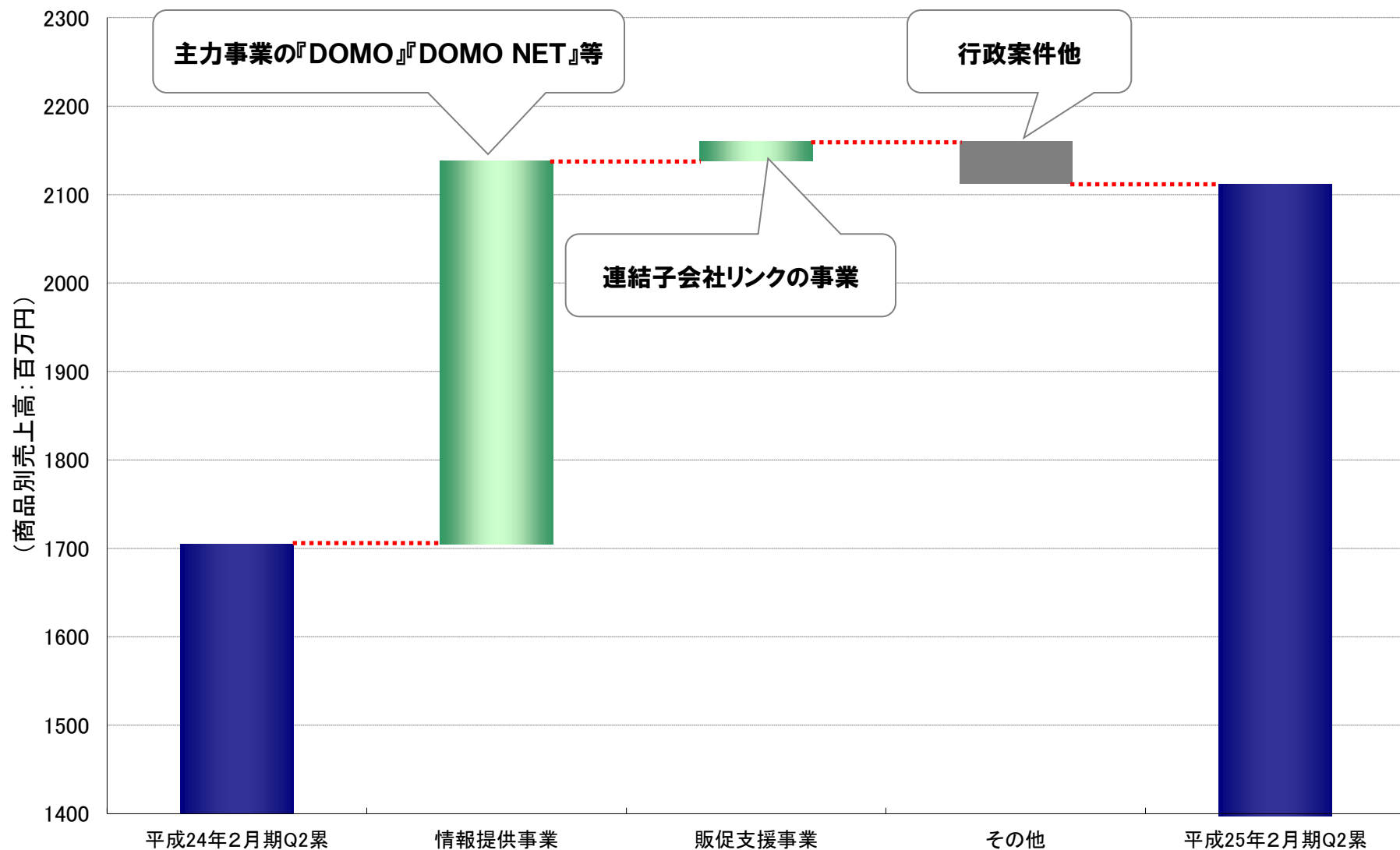
連結業績の概要

平成24年3月1日～平成24年8月31日

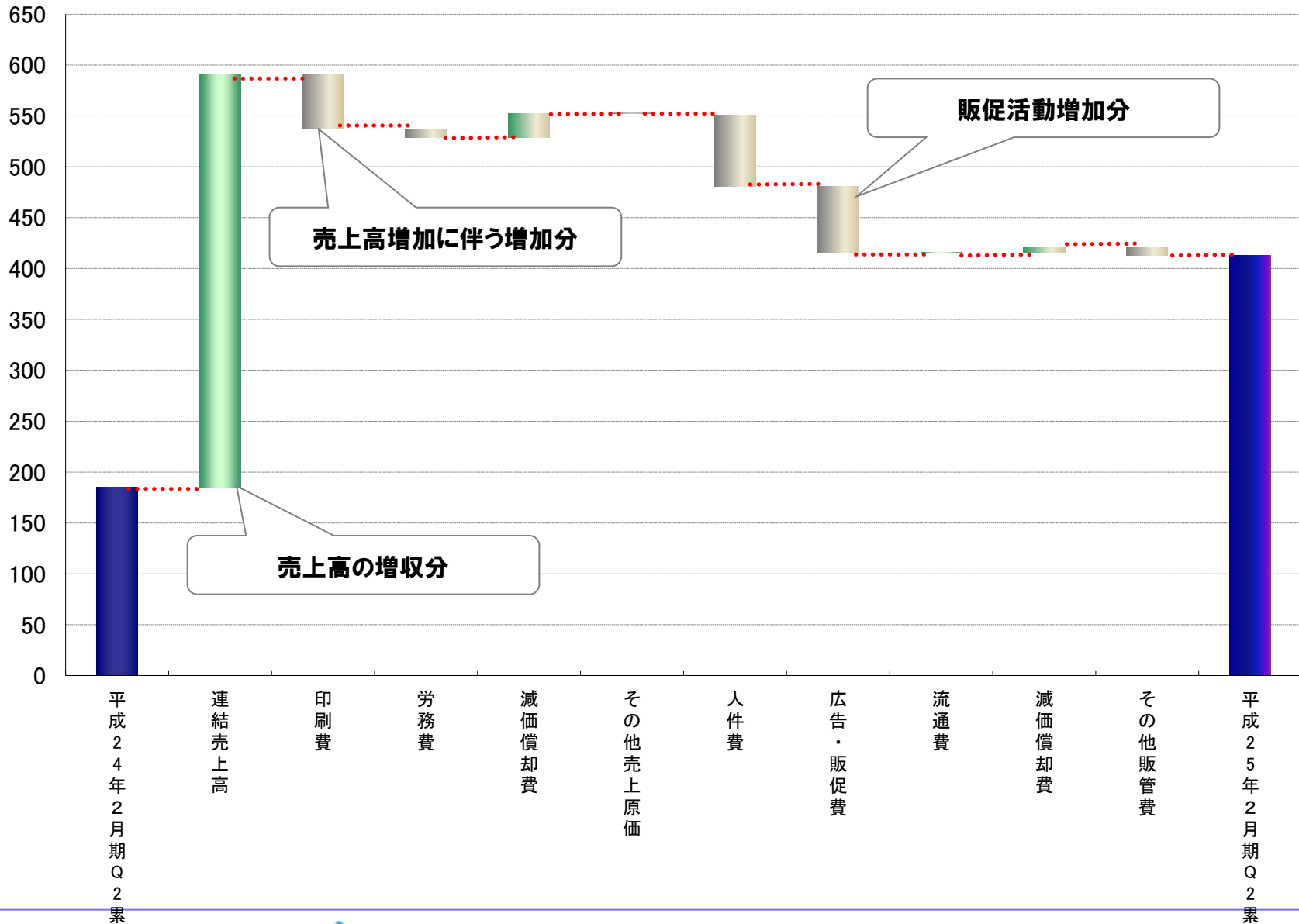
当第2四半期累計期間の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成25年2月期Q2累		平成24年2月期Q2累		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	2,112	100.0	1,705	100.0	406	23.9
売上原価	706	33.5	667	39.1	39	6.0
印刷費	256	12.1	201	11.8	54	27.2
労務費	129	6.1	120	7.1	8	7.1
減価償却費	41	1.9	64	3.8	△23	△36.2
その他売上原価	280	13.3	280	16.4	△0	△0.2
売上総利益	1,405	66.5	1,038	60.9	367	35.4
販管費	991	47.0	852	50.0	139	16.3
人件費	571	27.0	500	29.4	70	14.1
広告・販促費	125	5.9	59	3.5	65	109.4
流通費	45	2.2	44	2.6	1	2.4
減価償却費	30	1.4	36	2.2	△6	△16.7
その他販管費	219	10.4	210	12.4	8	3.9
営業利益	413	19.6	185	10.9	227	122.8
経常利益	414	19.6	190	11.2	224	117.8
税金等調整前	414	19.6	109	6.4	305	278.2
当期純利益	457	21.7	151	8.9	306	202.1
EPS	¥14.82		¥4.50			

セグメント別売上高



営業利益の増減要因



当第2四半期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成24年8月末		平成24年2月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	3,001	79.3	2,948	77.7	53	1.8
固定資産	784	20.7	847	22.3	△62	△7.4
資産合計	3,785	100.0	3,795	100.0	△9	△0.3
流動負債	447	11.8	619	16.3	△171	△27.7
負債合計	447	11.8	619	16.3	△171	△27.7
株主資本	3,338	88.2	3,176	83.7	162	5.1
資本金	455	12.0	455	12.0	—	—
資本剰余金	540	14.3	540	14.2	—	—
利益剰余金	2,671	70.6	2,309	60.9	362	15.7
自己株式	△329	△8.7	△129	△3.4	△199	153.9
純資産	3,338	88.2	3,176	83.7	162	5.1
負債・純資産合計	3,785	100.0	3,795	100.0	△9	△0.3
BPS	¥109.73		¥99.45			

- 流動資産は現金及び預金が2,268百万円(前期末比0.2%増)、営業債権(受取手形及び売掛金)が465百万円(同4.7%減)等となりました。
- 固定資産は有形固定資産が644百万円(同2.9%減)、無形固定資産が75百万円(同12.7%減)、投資その他の資産が64百万円(同33.4%減)となりました。
- 流動負債は未払金が271百万円(同23.4%減)、等となったためです。
- 純資産は3,338百万円(同5.1%増)、利益剰余金2,671百万円(同15.7%増)、自己株式329百万円(同153.9%増)のためです

当第2四半期累計期間の業績(CF)

金額・増減額:百万円	平成25年2月期Q2累	平成24年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	354	301	52
投資活動CF	△56	△31	△25
財務活動CF	△294	△0	△294
増減額	3	270	△267
期首残高	2,265	1,695	
期末残高	2,268	1,965	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前四半期純利益が414百万円、減価償却費が71百万円、売上債権の減少額が22百万円等となった一方で、貸倒引当金の減少額が1百万円、賞与引当金の減少額が28百万円、未払債務の減少額が68百万円、法人税等の支払額が18百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、敷金及び保証金の回収による収入が5百万円となった一方で、有形固定資産の取得による支出が28百万円、無形固定資産の取得による支出が30百万円となったためです。

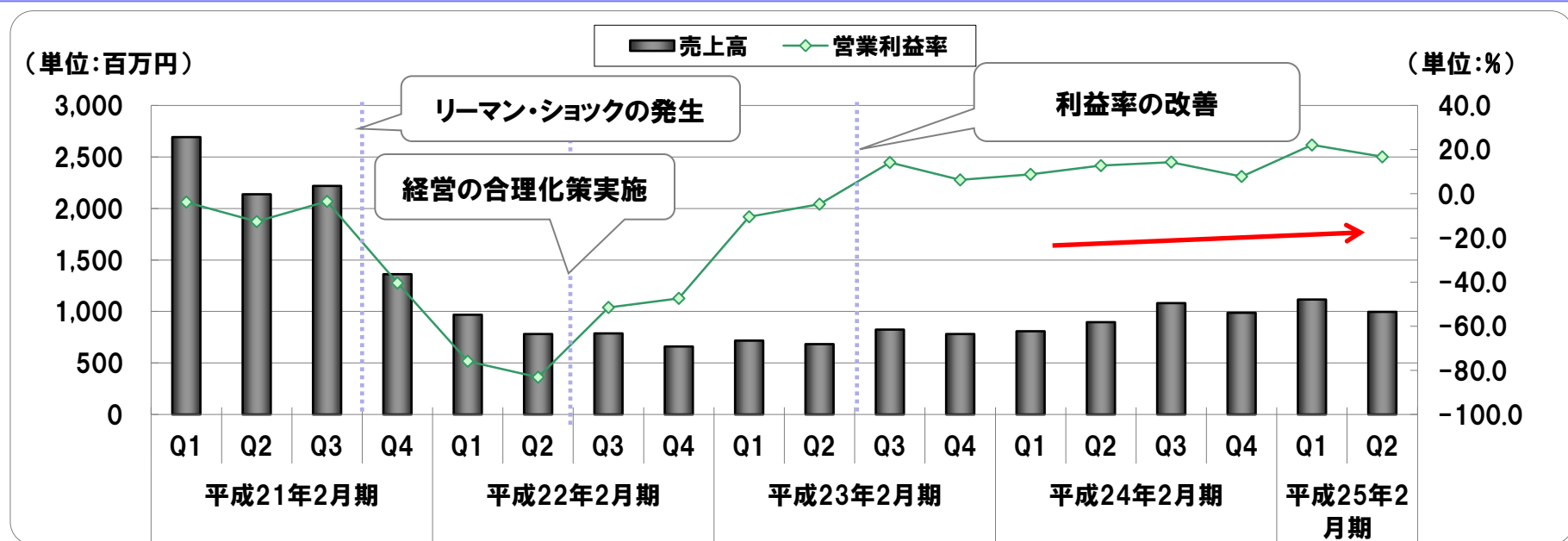
➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 自己株式の取得に対する支出が201百万円、配当金の支払い額が93百万円となったためです。

当第2四半期の総括

平成24年3月1日～平成24年8月31日

経営状態



急激な業績の悪化→財務基盤の脆弱化→経営の合理化策実施→ 黒字転換→収益構造の改善

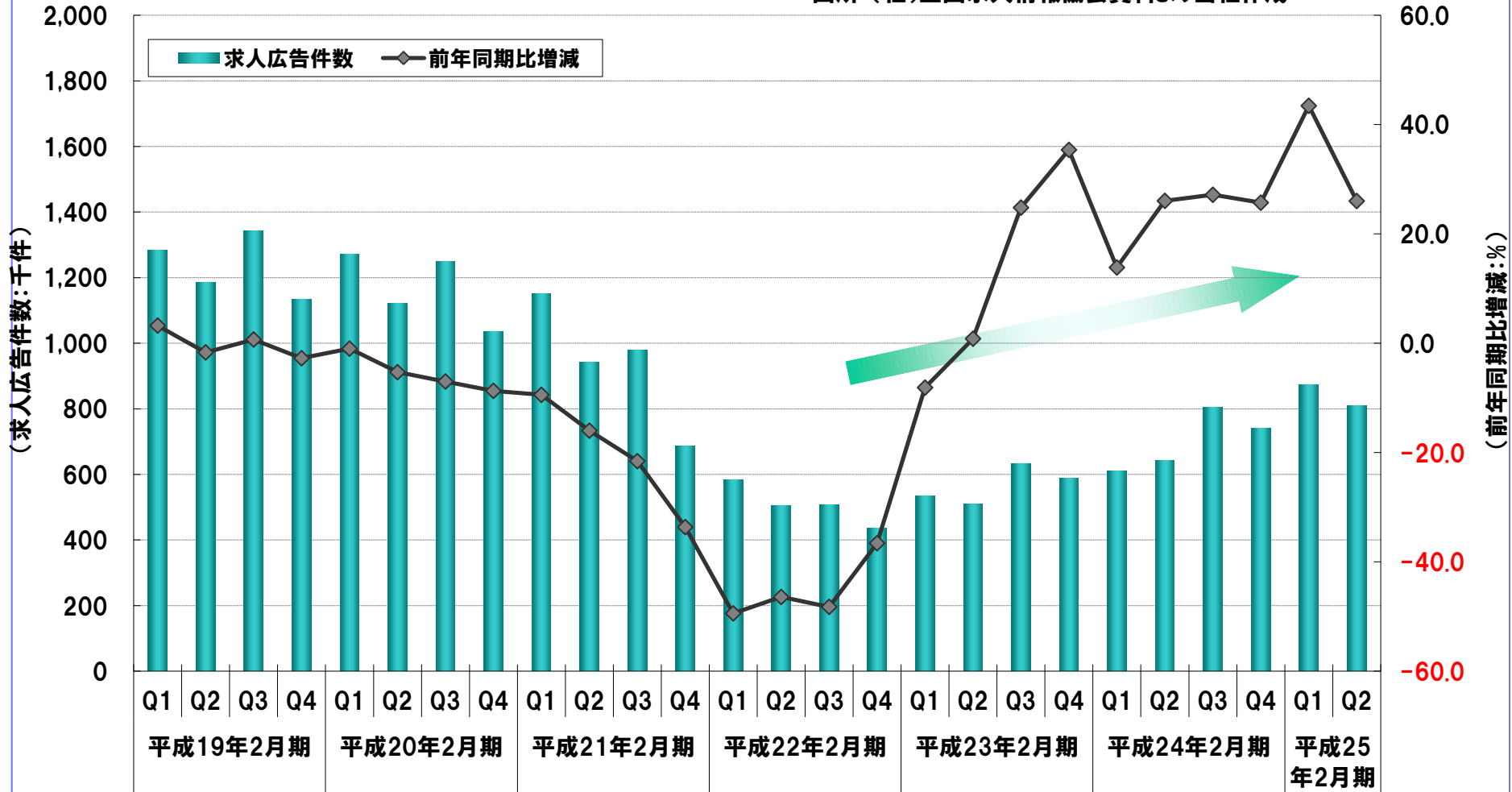
➤ 取り巻く環境

- ◆ 既存求人事業においては従来から縮小傾向が進んでいたが、平成21年2月期中に発生したリーマン・ショックを境に業績も急激な速さで大幅に悪化。
- ◆ 合理化策による収益構造の改善から黒字への転換を図るも、平成23年3月に発生した東日本大震災、その後の欧州政府債務危機問題等、経営環境に影響を与える諸問題が発生。
- ◆ 緩やかな全国的求人倍率の上昇と共に、静岡県内の雇用情勢も好転し大幅な黒字を計上。

事業環境①

全国の求人広告件数の推移
(正社員系及び非正社員系の合計、求人情報誌のみ)

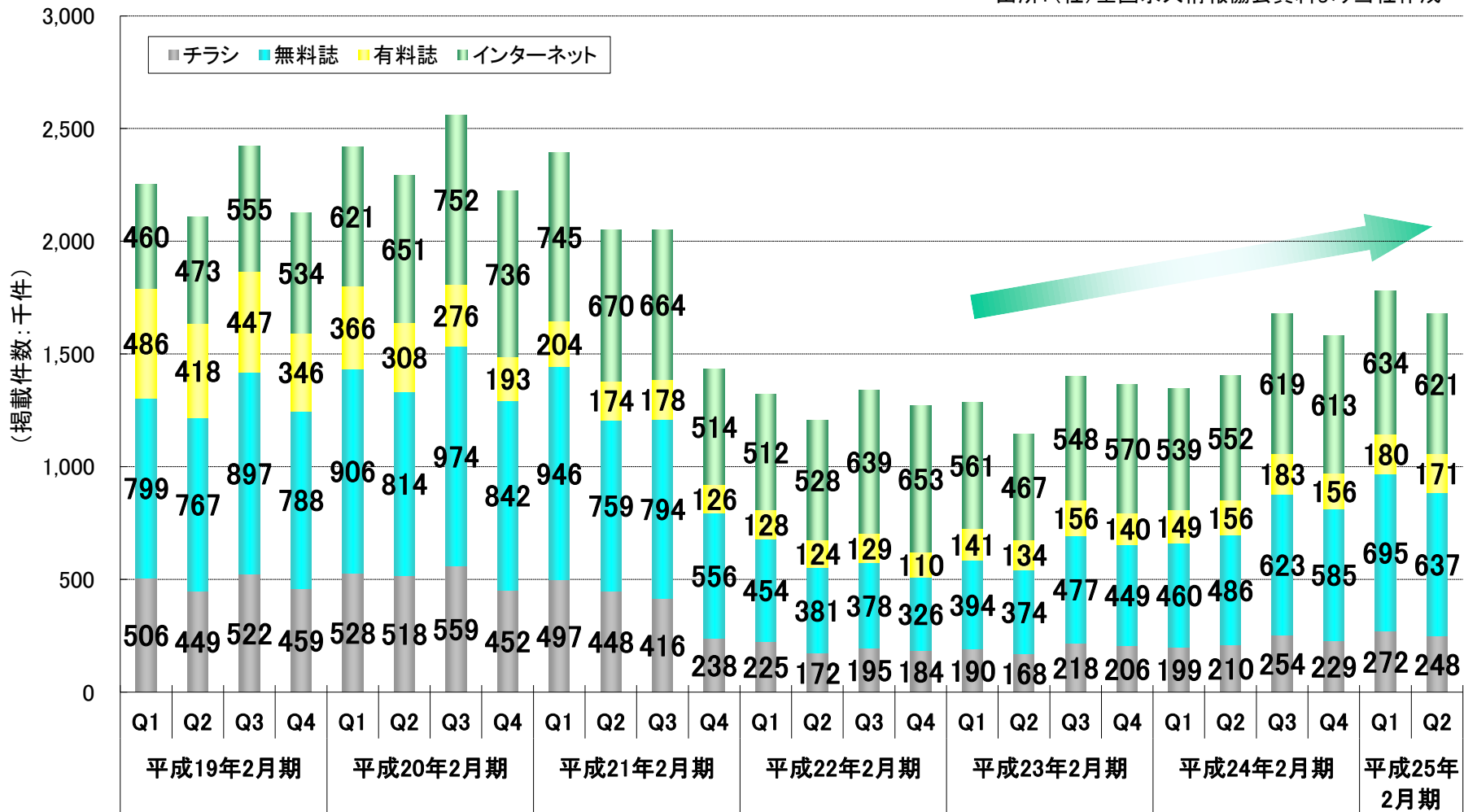
出所:(社)全国求人情報協会資料より当社作成



事業環境②

媒体別求人広告件数(全国)

出所：(社)全国求人情報協会資料より当社作成



当期の方針

基本戦略

- 既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する
- 資産を有効活用した新規事業によって成長戦略を描く
- 当社グループの理念を根付かせ、自立した企業風土へと変革する

地域における競争力の強化

収益基盤の拡大

収益構造の改善

組織力の向上

展開地域での競争力強化と収益基盤の拡大

- 転職・就職サイト『JOB』のオープン
 - ◆ 『DOMO NET』正社員版で培った実績を基に、静岡と名古屋において転職活動中の社会人、就活中の学生まで幅広いユーザー向けのサイトとしてオープン（スマホ、携帯、PC版と全てのメディアを網羅）
- 「シゴトフェア(旧名称:正社員向け合同企業ガイダンス)」の継続実施
- 飲食店向けSP広告の販売拡大
 - ◆ 株式会社カカクコムの『食べログ』の継続販売とリピーター促進のための自社商品『ハンジヨーモ』の販売
- PET関連情報提供サービス「ワンダフルスタイル」の提供
 - ◆ 地域社会や地域生活者に対して、魅力ある情報・サービスを開発・展開することで競争力強化と収益基盤の拡大を図る

収益構造の改善と組織力の向上

➤ BPRの推進により生産性向上を図る

- ◆ 営業場面での受注プロセスとバックグラウンドでの原稿処理プロセスにおいて、i-Padを用いて生産性を高める工夫を開始。抜本的な業務の見直しに際し、IT機器を組み合わせることで効果的に生産性を高める。

➤ 階層別、職種別研修の計画的実施

- ◆ 個々人の能力開発はOJT以外にも階層別、職種別といったカテゴリーに対して、業務に則した実践的な能力開発を実施予定。全体的なレベルの底上げを図るとともに、事業運営を担える人材の育成に取り組み、組織力の向上を目指す。

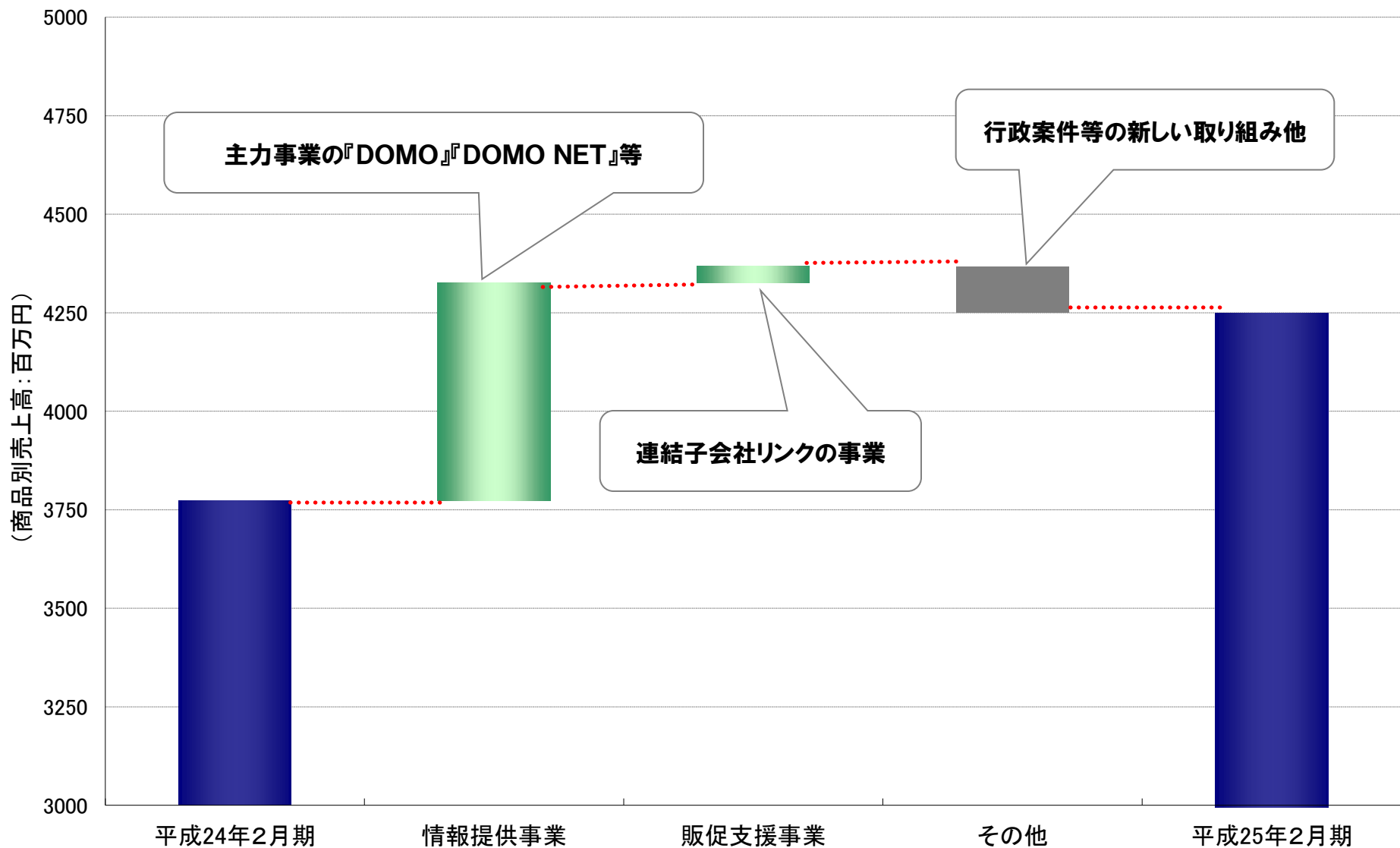
連結業績予想

平成24年3月1日～平成25年2月28日

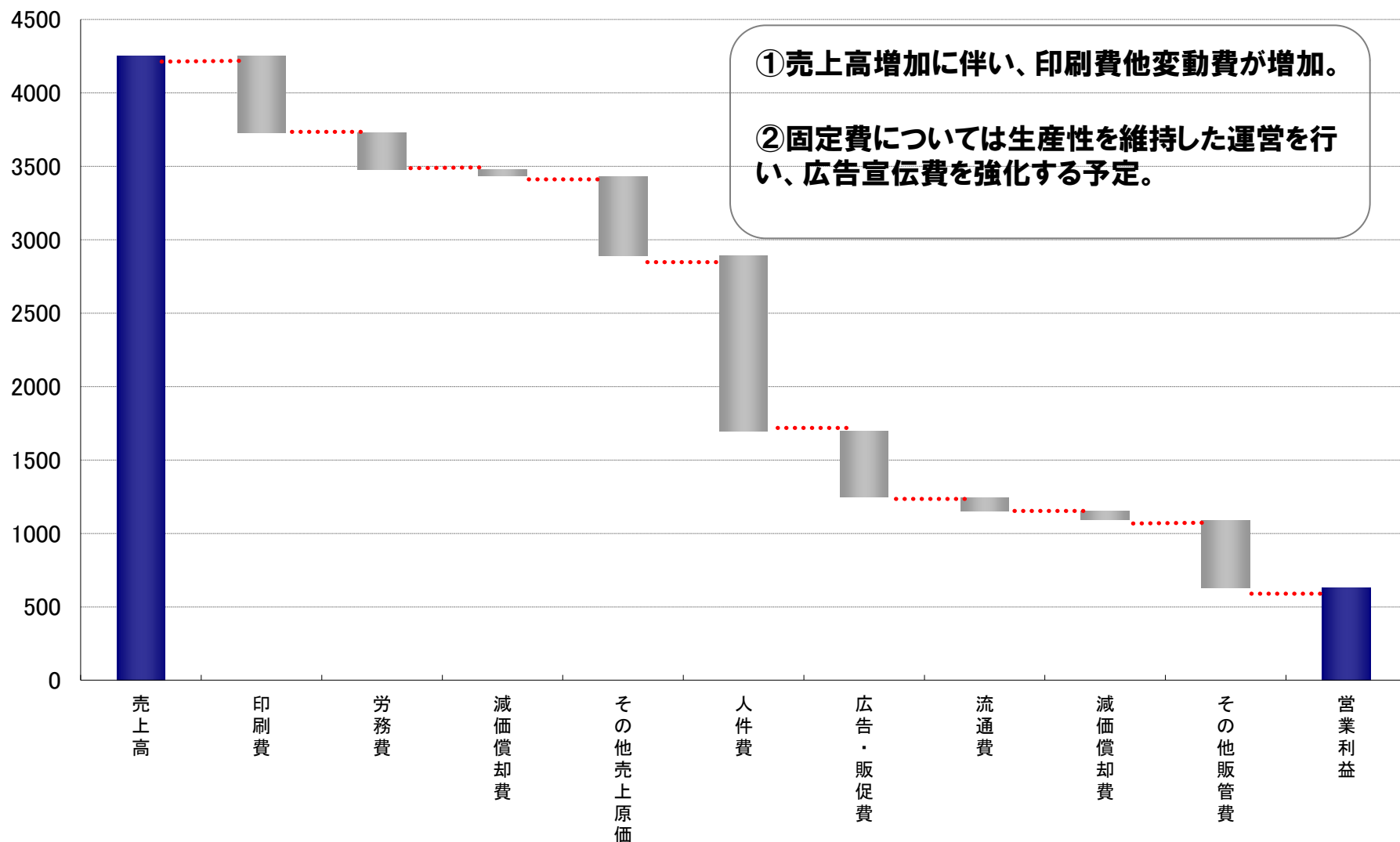
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成25年2月期		平成24年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,250	100.0	3,774	100.0	476	12.6
売上原価	1,359	32.0	1,413	37.5	△54	△3.9
印刷費	520	12.2	447	11.9	73	16.3
労務費	249	5.9	281	7.5	△32	△11.4
減価償却費	47	1.1	121	3.2	△73	△60.8
その他売上原価	541	12.7	563	14.9	△21	△3.9
売上総利益	2,891	68.0	2,360	62.5	530	22.5
販管費	2,262	53.2	1,942	51.5	320	16.5
人件費	1,194	28.1	1,137	30.1	57	5.1
広告・販促費	450	10.6	173	4.6	277	159.8
流通費	95	2.2	100	2.7	△5	△5.1
減価償却費	59	1.4	69	1.9	△10	△14.4
その他販管費	462	10.9	461	12.2	0	0.1
営業利益	628	14.8	418	11.1	210	50.4
経常利益	630	14.8	422	11.2	207	49.0
税金等調整前	630	14.8	319	8.5	311	97.5
当期純利益	658	15.5	389	10.3	268	68.9
EPS	¥21.48		¥11.77			

セグメント別売上高



売上～営業利益までの内訳



自己株式の取得について

➤ 自己株式の取得を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得する株式の総数 600,000株(上限)
・ (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 1.97%)
- ◆ 株式の取得価額の総額 100百万円(上限)
- ◆ 取得する期間 平成24年10月11日～平成25年1月25日
- ◆ 取得方法 信託方式による市場買付

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス 経営企画部

TEL:03-3254-2503

FAX:03-3254-2444

E-Mail:ir@atimes.co.jp

住所:101-0041

千代田区神田須田町1-24 アイセ神田ビル4F

HP:http://www.atimes.co.jp